

観測指示書

プロポーザル ID: 19A-K-0009

研究課題名: 全天 X 線監視装置 MAXI が検出した X 線連星のアウトバーストの
分光モニタ

PI: 上田 佳宏

A. 指示内容

- 0-1. 観測天体の座標・大体の等級・露出時間は、PI あるいは co-I がメールか電話で伝える
- 0-2. 露出時間については、指定がない場合、
 - VPH-495 は 100 分 (10 分/フレームの観測を 10 回実施)、
 - VPH-683 は 60 分 (10 分/フレームの観測を 6 回実施)とする
- 0-3. VPH-495 と VPH-683 で 1 回ずつ観測する場合と、同じ 2 種のグリズムでターゲット天体が観測可能な時間をフルに使い連続観測する場合がある。どちらを実施するかは PI あるいは co-I が事前にメールか電話で伝える。1 回の観測の場合は下記手順 6. まで、連続観測の場合は 9. までを実施する

1. 観測天体を導入する
2. イメージローテータ無しと設定する
3. グリズムは VPH-495 に設定する
4. 天体フレームを取得する
5. 標準星フレームを 3 フレーム取得する
6. グリズムを VPH-683 に変更し、4. と 5. を行う
7. (連続観測の場合) グリズムを VPH-495 に変更し、天体フレームを取得する
8. (連続観測の場合) グリズムを VPH-683 に変更し、天体フレームを取得する
9. (連続観測の場合) 7. と 8. を交互に可能な限り行う

B. A. の内容に加えて、観測前・あるいは終了後（明け方）に行っていただきたいデータ取得

1. ターゲットに対して実施したセットアップでの Comparison ランプの取得
2. ターゲットに対して実施したセットアップでのドームフラットの取得

ToO トリガーをかける可能性のある人のリスト

1. 上田佳宏: ueda@kusastro.kyoto-u.ac.jp
2. 志達めぐみ: shidatsu.megumi.wr@ehime-u.ac.jp
3. 村田勝寛: murata@hp.phys.titech.ac.jp
4. 野上大作: nogami@kusastro.kyoto-u.ac.jp